



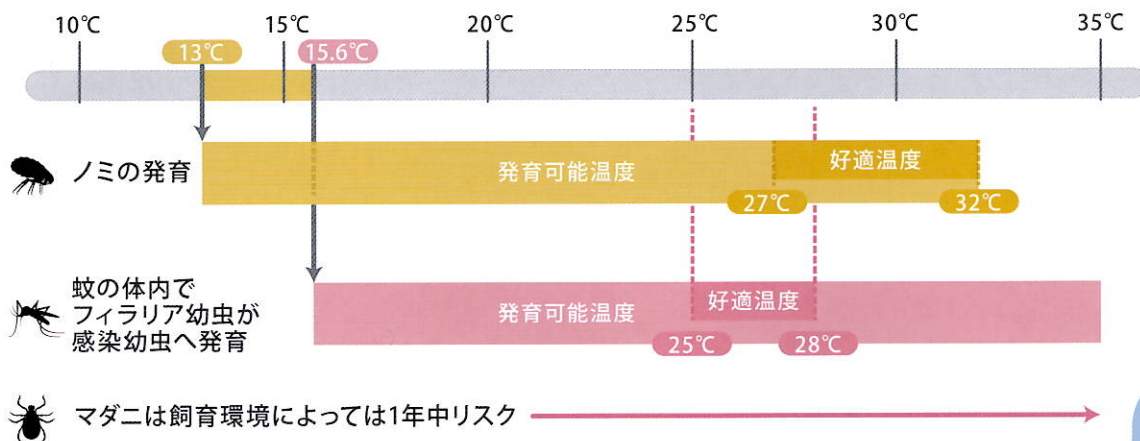
全国で寄生虫の リスク時期拡大中!



15.6℃以上であれば

ノミ寄生・フィラリア感染の両方のリスク発生

(蚊の体内で、フィラリア幼虫は感染幼虫へ発育が可能)



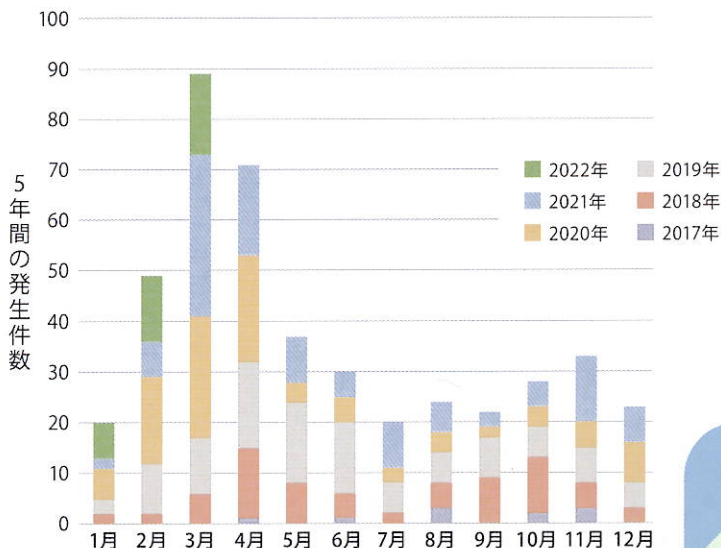
【参考】J. Med. Entomol. Vol.18, February 1981 犬糸状虫—寄生虫学の立場から— 大石勇 編著/蚊の化学 佐々学 編著/蚊 池庄司敬明



マダニ媒介性疾患である

SFTSの発生は1~3月でも見られる

5年間(2017年4月~2022年3月)の月毎のSFTS発生件数:ネコ・イヌ



フタトゲチマダニ:

- ・北海道~九州・沖縄に広く分布
- ・冬期は主に幼ダニと若ダニが未吸血の状態で落ち葉の腐葉層の下などに隠れて越冬する

キチマダニ:

- ・北海道~九州に分布
- ・夏と晩秋は吸血活動が最も盛んで、ほぼ通年活発に活動している